

第111号

舞岡地区連合・社協だより

とつかハートプラン

＊戸塚区地域福祉保健計画＊



マスコット
「こころん」

みなさん『とつかハートプラン』をご存知でしょうか。今回はこのテーマを紹介します。

基本理念「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」

戸塚区では、区民・関係諸団体の皆さんと区役所・地域ケアプラザ・戸塚区社会福祉協議会の連携により『とつかハートプラン』第1期(平18年度～)から現在第3期(～令2年度)を計画・推進してきました。

2025年には「団塊の世代」が75歳以上になり、少子・高齢化の社会状況の変化に、ささえあいの仕組み作りが課題となっています。(2025問題)

現在のコロナ禍においては医療体制の問題が大変重要になってきています。

＊戸塚区地域福祉保健計画＊

①区計画

②地区別計画

舞岡地区は
次回号に記載
します。

区全体で取り組む計画と、より身近なところで
取り組む地区別計画が策定・推進されています。

①区計画

基本目標1
支え合いと
助けあいの
あるまち

- ・日頃から顔の見える関係づくり
- ・ボランティア活動等による助けあい
- ・多様な見守り活動の展開
- ・家族支援・介護者支援
- ・安心して生み育てられる環境づくり

基本目標2
みんなが
ふれあう場
のあるまち

- ・多世代交流やふれあいの場・機会拡充
- ・趣味やテーマ活動を通じた仲間づくり
- ・学校・家庭・地域の連携

基本目標3
安心・安全、
人に
やさしいまち

- ・お互いを理解しあえる関係づくり
- ・災害時の助けあいの仕組みづくり
- ・犯罪等の発生を抑える地域づくり

基本目標4
いつまでも
元気で健やかに
暮らせるまち

- ・身近な健康づくりの場の拡充
- ・介護予防の大切さを周知し拡充
- ・シニアパワーを発揮する場の拡充
- ・在宅療養を支援の医療・保健・福祉の連携

スポーツ推進委員の活動のご紹介

スポーツ推進委員は、国のスポーツ基本法と横浜市の規則に基づき、横浜市長から委嘱され、市民のスポーツ振興のために、スポーツに関する事業計画から運営、さらに市民の方々に対するスポーツの実技指導、助言をする役割を担っています。

舞岡地区では舞岡第一、第二、第三、南舞岡、舞岡台、メガロン戸塚日限山の6つの町内の自治会から委員が選出され、現在7名で活動しています。今年は新型コロナ禍のため、スポーツ活動が思うようにできない状況ですが、例年の活動についてご紹介します。

一番注力しているのは、毎年10月に開催される『舞岡地区連合運動会』です。連合町内会と連携し、運動会の企画から大会当日の運営を担当しています。その他に小学生を対象にした『少年少女スポーツ大会』(写真は昨年)の企画・運営、また『横浜マラソン』をはじめとした区、市のスポーツ事業に参画し支援しています。

来年は今年できなかった分、皆様の声を伺いながら色々なことにトライしていきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしています。



舞岡地区連合スポーツ推進委員 部長 菊池 晃

＊この広報紙作成の一部として『赤い羽根共同募金』の配布金が使われています

施設の地域における役割 ～恒春の丘～

平成29年11月、舞岡台自治会(築地会長:当時)と慈善活動グループ(野口会長)が当施設に來設されました。地域における福祉慈善活動(舞フレンド⇒ミニデイサービス)を20年あまり行ってきたが、年々参加者の高齢化が進み、参加者を支えてきたグループの仲間たちも高齢となり、送迎することが困難となり困っているとの相談でした。

施設の車両は、週に一度、朝と昼の送迎であればお手伝い出来ると思い、この件を引き受けることにしました。活動内容は、毎週水曜日に利用者宅と舞岡台自治会館までの送迎です。問題は運転手の確保でしたが、私自身、地域の方に先ずは名前と顔を覚えていただきたい思いで、私が引き受けることにしました。この事をきっかけに、地域との交流がさらに深まったと思います。今後増々身体の不自由な高齢者が増加するなか、自治会・連合町内会との協力体制があれば、住み慣れた地域で暮らすことが出来ると思います。

このような顔の見える関係作りができ、災害時の共助体制の構築につながった『消防応援協定』があります。特別養護老人ホーム『恒春の丘』、介護老人保健施設『リハパーク舞岡』と舞岡地区連合会(杉本会長)との『災害時の消防応援協力に関する協定』です。施設で災害が発生した際、自治会は施設利用者の避難誘導や介護支援を可能な限り行い、自治会の区域内で災害が発生した際、施設が緊急時の避難場所を提供します。戸塚区では初の連合会との協定締結を『恒春の丘』が発起人となり、戸塚消防署の協力を仰ぎ2年に渡り協議を進め、平成31年3月7日、当施設で戸塚消防署・署長の立会いのもと、締結式が行われました。

令和2年1月31日、『恒春の丘開設10周年感謝式典』には地域の方々が大勢参加して下さいました。今後も地域行事などに積極的に参加し、顔の見える関係作りと協力体制を強固なものにしていきたいと考えております。



地域で買い物支援



舞岡町にある恒春の丘

特別養護老人ホーム 恒春の丘 事務長 藤巻直哉

更生保護女性会の活動のご紹介

更生保護とは犯罪や非行の立ち直りを社会の中で見守り地域のチカラで支えていくことです。そして『更生保護女性会』はボランティアとして、誰でも人として尊重され、明るい社会作りをめざし地域の見守り活動をしています。私たち『戸塚区更生保護女性会』は今年60周年を迎えました。しかし行事や研修会など、新型コロナウイルスの影響でほとんど中止になり残念です。令和2年4月現在の戸塚区の会員数は122名、内舞岡・柏尾地区は10名で会員が納める会費や助成金等で運営しています。

【舞岡・柏尾地区の活動について】

- ・6月に毎年作成している「愛のしおり」350枚を作成し、その内230枚を舞岡中学校の新生に渡しました。
- ・7月に毎年『社会を明るくする運動』として保護司会・更生女子・区役所・社会福祉協議会の方々と啓発活動を行っています。今年は『舞岡音楽まつり』は中止となり、リーフレットを全戸配布しました。
- ・8月には毎年、更生バザーを行い本年は『60周年記念バザー』を開催予定でしたが新型コロナの影響で中止になりました。地域の皆様には毎年多数の物品を寄付していただき感謝しています。売上金は寄付金を含め更生保護施設の訪問活動に役立てています。

以上のような活動や研修会等を今後とも会員の皆様と話し合い地域の見守り、明るい社会作りの一員として活動していきます。

舞岡・柏尾更生保護女性会 代表 益田ミサ子



毎年手作りされる「愛のしおり」



2017年施設視察研修



2019年社会を明るくする運動 東戸塚駅